

コロナに負けない!

コザしんの

話・輪・和

わ



・会長就任挨拶

株式会社南日本警備保障 代表取締役 島袋 哲安

・退任挨拶

旭建設株式会社 代表取締役 翁長 淳

・支部長・監査役紹介

・Kimono Innovationを目指し奮闘中!

真奈企画株式会社 代表取締役 伊佐 尚子

・コラム 国から6,000万円もらえるチャンス! 事業再構築補助金とは!?

栗原恒雄行政書士事務所 代表 栗原 恒雄

・コラム『事業承継』先送りになっていませんか?!

那覇商工会議所 沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター 経営者保証コーディネーター 徳山 哲也

・コザしん職員がパワープッシュ! 私のイチオシ!!

・コロナに負けない! コザしん“ゆいま〜る”

Kimono Innovationを

目指し奮闘中！



真奈企画株式会社
代表取締役 伊佐 尚子
(所属：十字路支部)

「とにかく、よく笑う。」

彼女と話していて誰もが持つ印象だろう。よく笑い、よく喋り、定期的に繰り出してくる冗談。パワフルさに、

「ばし圧倒される。歩くパワースポット」とも称される彼女は、沖縄市宮里にある真奈企画株式会社の伊佐尚子社長だ。不動産業を営む傍ら、「美ら着物」という新しい着物の特許を取得し、世界に発信すべく奮闘している。

【商売って楽しい】

「潜在意識の中で会社を興すっていうのは、20代から決まっていたんですよ、私の中でね。」そう語る伊佐社長だが、振り返ると会社を興すことになるいくつかのスイッチがあったという。

「小学生の頃、母親の仕事の手伝いで飲み物とおもちやを売りに行ってたんです。ある日、隣のおじちゃんが『お姉ちゃん、全部並べたらだめだよ。(在庫は下に隠して)残り3個だよって売りなさい。』って。その通りにしたら、あっという間に完売。ほー、商売って楽しい！」と二つ目のスイッチが入った。

【くやしさも自分を高めるエネルギーに】

最初の就職先を寿退職し、転職活動中に経験した挫折も大きなスイッチだった。

「次の就職も簡単に決まると思っていたら、面接に行っても全部ダメなんです。ある日、女性社長から『これから子供産む人が面接に来たの?』と言われて、『ハーツ、そうか!男性社長は遠慮して言わなかっただけで、これが現実なんだ!』と。」

最初はショックを受けたものの、その女性社長が言ってくれたことが、様々な資格を取得するきっかけとなったという。伊佐社長の名刺を見ると、「宅地建物取引士」「国内旅行業務取扱管理者」「1級土木施工管理技士」と、様々な保有資格が並んでいる。

「主婦が自信をつけるのは大変なんです。頑張っても誰も褒めてくれない。でも、資格は自信がつくじゃないですか。子育てが一段落したら起業して死ぬまで働くぞっ!と考えを変えてパートをしながら資格の勉強をしていました。」

着々と起業に向けて準備を進めていた伊佐社長は、(誌面の都合上)ここでは書ききれないが)紆余曲折を経て、43歳で夫とともに真奈企画株式会社を立ち上げる。

【デザインが降ってきた!】

美ら着物の開発を始めたのは、起業してから2年ほどたってからのことだった。

「幼い頃の正月に、従姉妹達が着物を着ているのを見て、潜在意識の中でずっと憧れていたんでしょね。でも、貧乏だったので自分は着られなくて。自分の子供達には着せてあげたいと思った時に、着付けもできないし、当時はレンタルも無い。そしたら、美ら着物のデザインが頭の中にポーンと下りてきたんです。」

幼い頃から、欲しいものがあれば何でも自分で作っていたという伊佐社長。美ら着物も縫製はプロに依頼しているものの、設計図の作成、データ化は自身で行っているという。

【目指すは世界】

美ら着物の特徴はなんといっても、着脱が簡単なこと。ボタンとフラスナーで着られるので外国の方でも一人で着ることが可能だ。伝統的なシルエツトで、しかも家で洗えるのが驚きだ。

特許を取得している美ら着物だが、当社で独占的に生産販売をしているわけではなく、ライセンス契約により他社(呉服店)での生産販売もしている。美ら着物をきっかけに着物を楽しむ人が増え、自社だけでなく、反物の生産者、呉服店、縫製店など、美ら着物に関わる皆と一緒に儲かる仕組みをつくりたいと、パートナーやライセンス契約先を募集している。「美ら着物を世界のマーケットに広げ、世界中

のうちなーんちゅに届けたい!」と意気込む。

【次のスイッチ】

昨年、子供が社会人となった伊佐社長。「息つくのかと思いきや、またスイッチが入ったという。」

「普通は老後の資金貯めようかと思うでしょ?自分でもびっくりしたんだけど、次は若い人のために働こうっていうスイッチが入ったわけ。儲かる仕組みを作って、軌道に乗ってきたら若い人に任せるといったのをどんどんやりたい。若い人が、『大人は楽しいんだ』と思ってくれると嬉しいです。」

目指すは令和の渋沢栄一かと尋ねると、「そうね、私、本当は男に生まれたかったかも。」と笑いながら、でも少し悔しそうに答えてくれた。

「あなたも自分でリミット決めたらダメよ、自分ではできなくて脳を騙した方がいいよ!そしたら、その方向に自分が近づいていくはずだから!」

そう言って送り出してくれた伊佐社長は、間違いなく仕事を楽しんでいる大人だと思った。



真奈企画株式会社
沖縄市宮里3-17-18
営業時間:9:00~19:00
TEL:098-934-1877
MOBILE:070-5537-1698

